


(様式6-3)

研修等 報告書

平成30年1月 3 / 日

三田市議会議長 今北義明様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

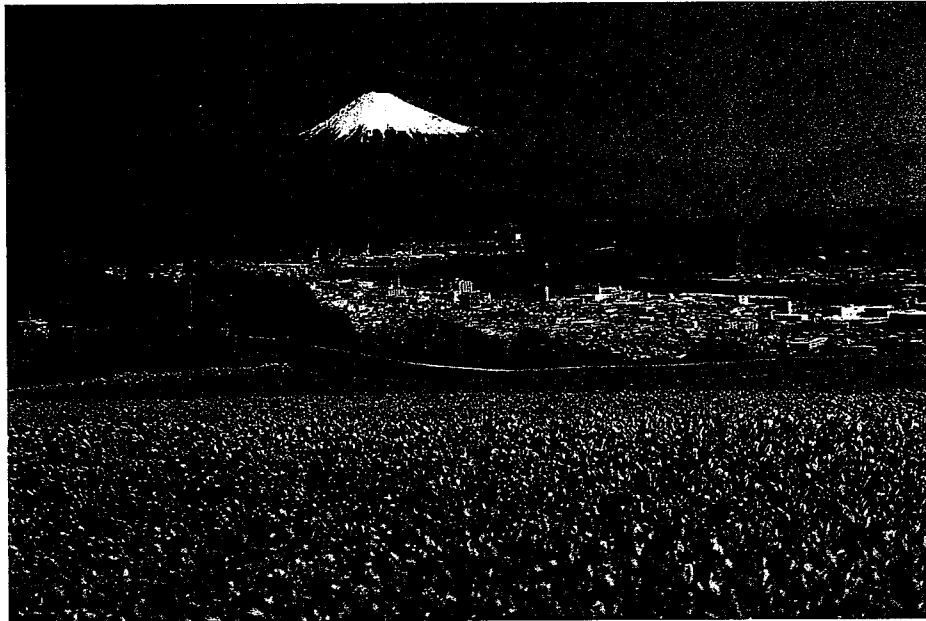
会派名	市民の会	代表者	
		議員名	檜田 充
参加者氏名	印 		
講演会等研修名	第43回市町村議会 議員研修会		
研修事項	第1講 2018年度予算の焦点と自治体政策のポイント 森 裕 之 立命館大学政策科学部教授 第2講 2018年度の介護保険制度・医療保険制度改正と自治体の課題 服部 万里子 服部メディカル研究所所長		
日時	平成30年1月29日(月曜日)～平成30年1月30日(火曜日)		
場所	静岡商工会議所静岡事務所 静岡市葵区黒金町20番地の8		
所見	第1講 2018年度予算の焦点と自治体政策のポイント 政府の動向と自治体の財政の関係や「地方創生」の活用について適切な示唆をいただいた。また、自治体の歳入・歳入の運用実態のチェックや地域の特徴・資源とビジョンに基づいた自治体政策を展開する必要があると感じた。全体的に厳しい傾向にあるが、創造的な運用で人口増を達成している自治体もあり、金額はわずかで、対象者が少なくとも、温もりのある政策がまちを潤し、人を呼び込んでいる、まさに成熟期を生きる自治体のあり方を学んだ思いである。 第2講 2018年度の介護保険制度・医療保険制度改正と自治体の課題 2017年介護保険法改正を受け、本年4月から制度・報酬改定が実施される。 今回の改定の狙いと現場(市町村)で起こりうる課題等について詳しくお話をいただいた。改定の狙いは医療が介護を統括し、自立支援を促すことを目的としている。しかしながら、権限が市町村へ移管されることや、認知症の増加、さらにはヘルパー等の介護人材の不足等不安な要素が多く見受けられる。そうした中での対応等について深い示唆をいただいた。何より共生型社会として障害福祉や児童福祉を介護事業に取り入れる今回の改定は、住民に対する説明が大切であり、通常のパブリックコメントでなく、説明会の開催が必要であると思う。		
添付資料	・研修会プログラム(写)		

6 添付書類(講演会内容のパンフレット等)について

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、参加者氏名は不要)

第43回

市町村議会 議員研修会



●2018年1月29日(月)・30日(火)

●静岡商工会議所静岡事務所会館会議室

JR静岡駅ビル「パルシェ」会議室

企画:自治体問題研究所 / 主催:(株)自治体研究社

も く じ

受講の皆様へのお祝いのご案内 3

1日目（1月29日月曜日）

記念講演 2018年度予算の焦点と自治体政策のポイント

..... 森 裕之 4

2日目（1月30日火曜日）

選科 A

2018年度の介護保険制度・医療保険制度改正と自治体の課題

..... 服部 万里子 34

選科 B

子どもの貧困をなくすための政策と運動の課題

..... 浅井 春夫 74

選科 C

公共施設への向き合い方を考える

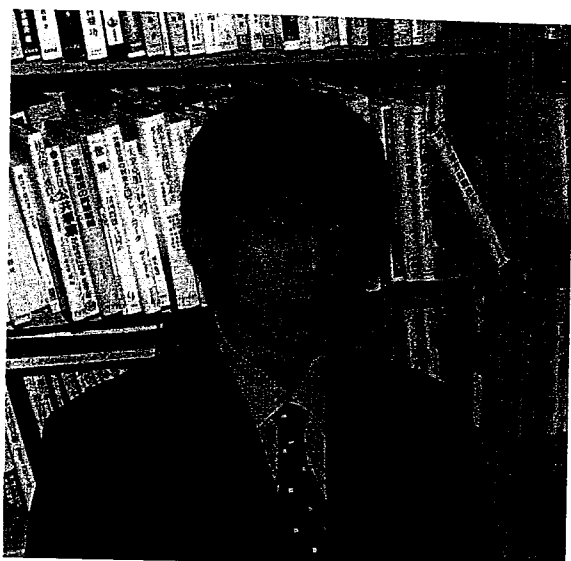
..... 森 裕之 98

2日目の会場について

選科 A・Bへご参加のかたは、1日目と2日目の会場は同じ商工会議所です。
選科 Cへご参加のかたは、1日目と2日目の会場が異なり、JR 静岡駅ビル「パ
ルシェ」7階第2・3会議室ですので、ご注意ください。

1日目 記念講演

2018年度予算の焦点と 自治体政策のポイント



もり ひろゆき

講師：森 裕之

(立命館大学 政策科学部 教授)

【プロフィール】

1967年大阪府生まれ。大阪市立大学商学部、同大学院経営学研究科後期博士課程中退後、高知大学助手。その後、高知大学専任講師、大阪教育大学専任講師・助教授をへて、2003年から立命館大学政策科学部助教授。2009年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業を専攻。また、社会的災害(アスベスト問題など)についても公共政策論としての立場から考察。

2016年4月から2017年3月までアメリカのコーネル大学客員研究員。

【主な著書】

『検証「三位一体の改革」』(共著、自治体研究社、2005年)

『新型交付税と財政健全化法を問う』(共著、自治体研究社、2007年)

『財政健全化法は自治体を再建するか』(編著、自治体研究社、2008年)

『公共事業改革論』(有斐閣、2008年)

『検証・地域主権改革と地方財政』(共著、自治体研究社、2010年)

『これでいいのか自治体アウトソーシング』(編著、自治体研究社、2014年)

『21世紀の地方自治と地方財政－内発的発展の地方財政論－』平岡和久・自治体問題研究所編『新しい時代の地方自治像と財政』(自治体研究社、2014年)

『公共施設の再編を問う』(自治体研究社、2016年)

2018年度の介護保険制度・ 医療保険制度改正と自治体の課題



はっとり まりこ

講師：服部 万里子

日本ケアマネジメント学会副理事長
NPO渋谷介護サポートセンター事務局長
服部メディカル研究所所長
東京医科歯科大学大学院非常勤講師

【プロフィール】

大学で社会学を学び、一般企業で勤務後、病院に勤務しながら看護師資格取得、病院に10年勤務後1989年に高齢者医療看護福祉のコンサルティング事業を看護師3名で立ち上げる(服部メディカル研究所)。2000年より城西国際大学教授。同年NPO渋谷介護サポートセンターを設立し、ケアマネジャーとして現役。2001年産能大学経営情報学研究科卒業(MBA取得)。2007年より立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授。2012年4月より立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科講師。最近の著作に『服部万里子のケアマネジメント実践法—インテークからケアプラン評価まで—』(中央法規、2013年)、『最新版 介護ビジネス実践ガイド』(PHP研究所、2015年)、『図解でわかる介護保険のしくみ』(日本実業出版社、2015年)がある。

【資格】看護師・社会福祉士・介護支援専門員

【学会役員等】日本ケアマネジメント学会副理事長、日本精神保健社会学会理事、全国訪問看護事業協会理事、日本介護支援専門員協会理事、日本高齢者虐待防止学会監事

【公務】渋谷区介護認定審査委員、渋谷区介護保険運営協議会委員長、渋谷区地域包括支援センター運営協議会委員長、渋谷区地域密着型サービス運営委員会委員長、渋谷区指定管理者選定委員会委員、渋谷区介護保険事業計画等作成委員長、渋谷区ボランティア運営委員会座長、千葉県中核地域生活支援センター評価委員会委員、埼玉県介護保険審査会委員ほか多数